

臨床研究「AST 始動後の当院における広域抗菌薬投与開始時の血液培養検査提出率」

へのご協力をお願い

1. はじめに

感染症診療においては、原因となった細菌を特定する前から抗菌薬による治療を開始しなければならない場面がしばしばあります。その場合であっても、適切な培養検体を採取後に抗菌薬治療を開始することが望ましいとされています。本研究では、当院でいわゆる広域スペクトラムとされる抗菌薬が投与された患者における、投与前の血液培養検査の提出率を調査します。なお、対象となるのは当院入院中にメロペネム、ピペラシリンタゾバクタム、セフェピム、レボフロキサシンを投与されたことのある方です。

2. 研究の方法について

2017 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日の間に当院において、メロペネム、ピペラシリンタゾバクタム、セフェピム、レボフロキサシンを 1 回以上投与した入院患者を対象とします。該当する患者の抗菌薬を開始した日と同日に、血液培養検査が提出されたかを調査します。過去の診療記録を振り返る研究ですので、対象となる方に新たなご負担をおかけすることはありません。

尚、本研究は当病院の倫理委員会により所定の審査を経て許可を得て行っております。

3. 診療情報等の管理について

研究のデータは主に電子的に処理され、本研究の結果を解析するために使われます。解析のために患者様の診療に関する医療情報を使用する場合がありますが、個人情報保護のために、名前は記号や番号に置き換えて取り扱われます。皆様の個人情報の管理は十分慎重に行い、プライバシーの漏洩がないように致します。

4. 研究参加への同意または不同意について

この臨床研究への参加の同意・不同意は患者様の自由であり、同意しない場合でも、なんら不利益を受けることはありません。また、参加同意後もいつでもこれを撤回できます。研究への参加をご希望されない方、また参加同意を撤回されたい方は、お手数ですが備え付けの書類にご署名頂き、最寄りのナースステーションまたは臨床研究推進センターまで提出をお願い致します。

5. 研究成果の公表について

この研究によって得られた研究成果などが、科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、公開内容には個人のプライバシーに関わることは含みません。

ご不明な点やご質問などございましたら下記連絡先までお願い致します。

2024 年 8 月 27 日

〒309-1793 笠間市鯉淵 6528 TEL0296-77-1121 (代)

内科（感染症） 秋根 大

茨城県立中央病院
病院長 殿

私は、「AST 始動後の当院における広域抗菌薬投与開始時の血液培養検査提出率」
の研究参加に同意致しません。

____年 ____月 ____日

ご氏名
(ご本人様またはご家族様ご署名)

ご住所

電話番号

* ご家族様にご署名して頂いた際には、患者様ご本人のお名前もご記入下さい。